

## 習志野市通学区域審議会 会議録

1. 開催日時：令和4年7月13日（水） 午後1時30分から午後2時30分
2. 開催場所：市庁舎5階小委員会室
3. 出席者：審議会委員 井上聡子委員（会長）、天田正弘委員（職務代理者）  
市瀬健治委員、清水晴一委員、竹田佳司委員  
大崎栄貴委員、飯田英子委員、吉田昌之委員  
和田理香委員  
事務局 小熊教育長、菅原学校教育部長、蓮学校教育部長、  
中野教育総務課長、合田学校教育課長、小出学校教育部長、  
西郡学校教育部長、坂井管理主事、城崎管理主事、  
芦川副主査  
傍聴者 1名

#### 4. 会議の概要

##### 【委嘱状交付式】

開会

委嘱状交付・委員紹介

事務局紹介

閉会

##### 【会議次第】

会長の選出

職務代理者選出

会議の公開（非公開）

会議録の作成等

会議録署名委員の指名

報告事項

（1）本市における小・中学校の適正規模・適正配置について

（2）小規模特認校の現状について

（3）津田沼ザ・タワー、バウス津田沼から向山小学校への通学路の変更について

その他（事務局連絡等）

#### 5. 会議資料

・次第

・習志野市通学区域審議会委員名簿

・習志野市通学区域審議会条例

・報告（1）習志野市立小・中学校の適正規模・適正配置に関する基本方針

・報告（2）小規模特認校の現状及び地域特認校について

・報告（3）向山小学校の通学路について

## 6. 議事内容

### (1) 本市における小・中学校の適正規模・適正配置について

(清水委員)

資料5頁に、学校の余裕教室や校庭などを有効活用することによって、学校が活性化した事例も多く見られるとの記載があるが、その具体例について伺う。

(小出学校教育部主幹)

公共施設及び需要の多い保育園、高齢者施設等の複合化を市川市、京都市で実施している。特に京都市では「特色ある学校づくり」という点から人口の創出につながったと伺っている。

(清水委員)

資料6頁に、6年後の学級数推計値で、全ての学年が単学級となった場合、今後もまちづくりの中に学校をどのように位置づけていくのか検討する会議を設置すると記載されているが、具体的にはどの学校でいつ頃設置する予定があるのか伺う。

(小出学校教育部主幹)

昨年度作成の推計上では、現在のところ全学年が単学級となる見通しの学校はない。しかし、今後の状況を注視していかなくてはならないと考える。先程説明した袖ヶ浦西小学校の児童数減少の状況もあり、袖ヶ浦地区の児童数が少ないというのは事実である。令和5年度より全学校に設置する予定の学校運営協議会を活用したり、必要になった時に、会議の設置について判断していきたい。

(清水委員)

同会議では、学校統合についても検討をするということだが、同会議の設置により最終的に合意形成を図るものなのか、多数決で決定するのか、幅広い意見を集めるものなのか当局の見解を伺う。

(小出学校教育部主幹)

学校は地域コミュニティの核としての役割を担っている。現行の学校を可能な限り維持していくと示している。すべての学年が単学級となると推計された場合には、学校の在り方について、学校・行政・保護者・地域等の代表で構成された会議を設置することとしており、まちづくりの中に学校をどのように位置づけていくのか検討していくものと考えている。

そのため、幅広い意見を伺うものであると考える。特に学校統合の有無については、非常に大きな内容なので、決して多数決で決定するようなことではないと考えている。

(清水委員)

同会議の設置は文部科学省の方針によるものか伺う。

(小出学校教育部主幹)

文部科学省から求められているものではないと認識している。しかし、学校の配置等に

については、行政のみで決めることではないと考えているため、地域の方を交えた会議を設定する必要があるとしたものである。

(清水委員)

小・中学校の統廃合は、地域にとっても大変重要なことなので、同会議を通して幅広い意見を拾っていただければと思う。戦後のまちづくりは欧米の近隣住区論を基調として始まっており、小・中学校を中心としたまちづくりを進めている歴史がある。小・中学校は地域にとって非常に大切な地域コミュニティであり、核である。特に袖ヶ浦西小学校については、このままでは学校がなくなってしまうことが危惧されるが、私としては学校を存続できるように、当局には御尽力いただきたい。

(清水委員)

奏の杜から谷津南小学校へのバス通学の現状と限界を迎えつつあるバス通学の今後の対応について伺う。

(西郡学校教育課主幹)

バス通学については、令和4年7月1日現在、414名の児童が利用している。京成バスと協議し、令和3年度には、7時30分と8時に2本臨時便を増便し、現在、7時前から8時過ぎに計13便のバスを利用し、通学を行っている。また、奏の杜3丁目バス停に近接する歯科医院の駐車場、約90平方メートルを無償で使用させていただき、乗車待機場所として活用している。

(合田学校教育課長)

先程、清水委員より袖ヶ浦西小学校の件について、触れていただいた。袖ヶ浦西小学校については、昨年度の推計では、全学年単学級となる見込みはないとのことだが、児童数の減少は明らかであると捉えている。学校を存続してほしいという御要望もいただいたが、今後も袖ヶ浦西小学校の動向を注視しながら、教育委員会としても早めに対策を検討していきたい。

## (2) 小規模特認校の現状について

(清水議員)

資料2頁に、UR袖ヶ浦団地の一部建て替え等によって児童数が増加する可能性があるということについて、「子育て世帯」の入居促進などUR側の情報があれば伺いたい。

(小出学校教育課主幹)

袖ヶ浦3丁目4街区と6街区において団地再生事業が行われると伺っている。284戸の新たな住宅が建設されるとのことである。令和8年度秋ごろに入居開始をするとのこと。現在はここまでの情報となっており、今後の動向を注視していきたい。

(清水委員)

袖ヶ浦団地はかなり高齢化しているため、5階の空き部屋を利用して、千葉工業大学の学生がルームシェアを行っている。URは、まちづくりの観点からも色々な世代の方が住めるように政策を進めていると聞くので、敏感に情報を察知していただき、また市からも情報を発信して、団地に多くのファミリー世帯、子育て世帯が住んでもらえるような方法を、UR側に要望していただきたい。

### (3) 津田沼ザ・タワー、バウス津田沼から向山小学校への通学路の変更について

(市瀬委員)

通学路が変更になった主な理由は何か。

(合田学校教育課長)

保護者の要望が一番大ききところである。その後、地域との懇談等を経て進めてきた。

(市瀬委員)

保護者の要望としては（現行の通学路が）車の往来が多いという理由か。

(合田学校教育課長)

様々な理由がある。従来のルートはガードレールが設置されているが、歩道が狭いため、人の行き来が難しいということも一因である。それに比べ新ルートは歩道が整備されている点から、通学路として使いたいという保護者の声もあった。

(市瀬委員)

従来のルートと新ルートの併用をしていると伺ったが、現時点でどちらを使って通っている児童が多いのか。

(合田学校教育課長)

およそ半々程度であると伺っている。

(和田委員)

新ルートはこの道だけか。奏の杜側に少し入ると、距離はほとんど変わらずにさらに安全なルートがある。資料の十字路の部分は見晴らしがいいがゆえに、どちらが優先道路かわからず、事故を起こしている場面を何度か目にしている。ザ・タワーからバウス津田沼へ行くまでのルートの交通量が多く、一番危険である。先程話した奏の杜側のルートであれば、歩道も幅3m以上あり、安心できる。

(合田学校教育課長)

向山小学校の通学路の変更にあたっては保護者、PTA、地域の方の御意見を伺い、協議してきたと伺っている。保護者によって色々な御意見をお持ちの方がいそうだが、協議を重ね、安全指導の円滑に行うことも踏まえ、このように決定したと伺っている。

(和田委員)

現在のルートで特段問題はないのか。

(合田学校教育課長)

地域の方からの通学路の安全面を心配する声や、学校において登下校の安全を検討することで、通学路の再考について話を伺っていくことは有り得ると考えている。

(吉田委員)

特に危険であるとされるA、B地点については、教職員を配置していると伺ったが、向山小学校の職員が十分に足りているから配置しているのか。以前、谷津小学校ではシルバー人材の方が立っていただいていた。

(合田学校教育課長)

基本的に登校時に配置しており、下校時は毎日配置することはなかなか難しいと報告を受けている。不定期に見守り活動を行い、地域の方に依頼していると伺っている。教職員の負担にならないように考えていかななくてはならないが、学校において地域の方と協力して進めているとのことである。

(吉田委員)

保護者は先生方の負担が大きくなってしまふことを望んでいない。保護者が主体となって考えていかななくてはならない問題だと思うため、もし無理に先生方を動員しているのであれば、正直に保護者に伝えていただきたい。

(合田学校教育課長)

その旨、学校へ伝えたいと思う。交通安全週間においては教育委員会職員も交代で登下校の見守り活動を実施している。学校・地域・行政が一体となって、子どもたちの安全を守っていきたい。

(清水委員)

先程の話にもあったが、毎日配置するのは大変であると感じるので、シルバー人材センターに委託するなどの検討もぜひお願いしたい。

(清水委員)

防犯面の対策として、通学路の防犯灯のLED化、移設、角度の調整をするとのことだが、該当する防犯灯の個数と必要額、予算化、工事予定時期について伺う。

(合田学校教育課長)

新ルートの防犯灯は2基、新ルートを通り、従前からのルートに合流してから学校までの間に7基ある。6月下旬の通学路点検の際に、対策について検討するものとして挙げたものであり、現在防犯安全課で通学路の照度を計測し、その必要性を検討しているところ

ろである。そのため、まだ具体的な必要額や予算等の見積もりはされていない。ただし、移設については1基、今年度中に実施することが決定していると防犯安全課から回答を得ている。

また、防犯目的のものではないが、新ルート上の街路整備課主管となっている街路灯は10基あり、そのすべてが今年度中にLED化工事が予定されている。

(清水委員)

しっかり予算を確保し、防犯灯の整備を進めていただきたい。

(清水委員)

「子ども110番の家」への協力要請だが、今回の新ルートにおいて、何件程度を想定しているか伺う。

(合田学校教育課長)

現在、新ルート上の「子ども110番の家」は1件となっており、青少年センターでは「50mに1件程度」を目標に協力要請を行っている。新ルートはおよそ400m程度であるので、8件程度を目標にしたいと考えており、現在学校が学校評議員に相談し、地域住民へ協力要請の準備を進めている。青少年センターからも同様に要請する予定である。

(清水委員)

「子ども110番の家」は玄関にステッカーを貼り、犯罪の抑止力につながっているので、引き続き要請をお願いしたい。

#### 【その他（事務局連絡等）】

(小出学校教育部主幹)

次回の会議の開催は、現在のところ未定である。質問事項や皆様から御意見をいただく必要のある事案が発生した場合、調整し、お知らせする。

(市瀬委員)

審議会委員名簿の備考欄に記載されている任期が、令和4年7月31日までとなっているが、令和4年8月以降の審議会委員の考え方について伺う。

(小出学校教育部主幹)

7月に開催される教育委員会会議を経て、令和4年8月1日より2年間、現委員に引き続き、務めていただく予定となっている。

(清水委員)

八街市の事故を受けて、文部科学省より指示のあった小学校通学路の安全対策について、本市の経過を審議会の中で報告いただきたい。

(合田学校教育課長)

昨年度は例年行っている小・中学校の通学路合同点検に加え、小学校通学路の緊急一斉点検を行い、危険箇所への対策を行ってきた。

今年度は、5月25日に通学路安全対策協議会を実施し、6月下旬には、各小・中学校の通学路合同点検を行った。現在、習志野警察、市関係課、市教育委員会、学校で対策の実施に向けて検討しているところである。また、現在は夏の交通安全運動期間となっているが、季節ごとの交通安全運動期間を中心に、市教育委員会職員もパトロールや見守り活動を行っているところである。また、今後の経過については、次回報告させていただく。